

WordPressサイトの集客に役立つ 10個のSEO方法

2015年6月16日



株式会社ディーボ

札幌市北区北7条西4-17-1 竹山ホワイトビル

URL: <http://devo.jp/>

E-mail: support@devo.jp

本レポートの一部、または全ての複製や配布、Web上での公開を禁止します。

目次

1. Akismet コメントスパム防止
2. All In One SEO Pack SEO対策プラグイン
3. WPtouch Pro モバイルサイト作成プラグイン
4. PubSubHubbub インデックス促進プラグイン
5. TOPページをメインキーワードで上昇させる
6. カテゴリページを内部対策でキーワード比率を高める
7. ナチュラルリンクを獲得する記事を書く
8. パーマリンクの設定
9. パーマリンクの設定方法
10. 最適なパーマリンク設定

1. Akismet コメントスパム防止

Akismetは、最初からWordPressに入っている初期プラグインのひとつです。

プラグインの役割は、コメントスパムの防止です。

WordPressでブログを作成して、運用していくと何故か英語など外国語のコメントが多数届き始めることが多いです。これは、WordPressのコメントを狙って被リンクを獲得したり、サイトに誘導したりするスパムコメントであることがほとんどです。

この手のスパムコメントを防止してくれるのが、Akismetです。

Akismetのプラグイン画面での説明には、

何百万もの利用実績がある Akismet はあなたのブログをコメントスパムやトラックバックスパムから守る最良の方法です。あなたが布団の中にいるときでさえ Akismet はサイトをスパムから守ります。始めるには: 1) 今読んでいるこの説明の左側にある「有効化」リンクをクリック、2) サインアップして Akismet API キーを取得、それから 3) Akismet の設定ページに移動して API キーを保存してください。

とかかれており、Akismetのサイトへ行行って、APIキーを取得して、それをプラグインの設定ページに入力すると開始されます。

スパムコメントは、ブログによりますが、来るときはかなりの数が来ますので、最初にAkismetを入れておくと安心です。

2. All In One SEO Pack SEO対策プラグイン

定番SEO対策プラグインのAll In One SEO Packです。

様々なSEO対策に関する設定ができますが、最初に入れる理由は、noindexの設定を最初にやったほうが良いからです。

noindexの設定は、以前の記事 [【WordPress SEO】noindexの使い方 WordPressの独特のnoindexの使い方](#) で書きましたが、WordPressは、自動的に記事ページ以外のタグページなどの記事一覧ページが多くできます。

ここで価値の低い記事一覧ページをnoindexにすることによりサイトの価値を上昇させることを目的に設定します。最初に入れるのは、一度、Googleにインデックスされるとnoindex設定してもインデックスから削除されるのは、時間がかかる場合があるので、最初からインデックスさせないようにするためです。

基本的には、以下ページをnoindexすることをおすすめします。

タグページ
サイト内検索結果ページ
TOPページなどの2ページ目以降
月別アーカイブページ
カテゴリページ

この中でカテゴリページは、自分のサイトのSEO戦略と合わせてnoindexにするかどうかを決めてください。

SEOラボでは、カテゴリをnoindexにすることにより10%~20%の検索トラフィックが伸びております。

3. *WPtouch Pro* モバイルサイト作成プラグイン

WPtouch Proは、モバイルサイトを自動で作成してくれるプラグインです。

こちらは、独自のキャッシュ機能を持ち、ページの表示速度を速めてくれる効果があります。

2015年4月21日からモバイルフレンドリーアルゴリズムが適用されました。モバイル対応をしておくべきでしょう。

もちろん、キャッシュ効果が特にいらないということでしたら、WPtouch Proを使わずにモバイルサイト付きのテーマでも問題ありません。

4. PubSubHubbub インデックス促進プラグイン

このプラグインは、WordpressでSEO対策をする人の間では有名だと思います。

「ハブサブハブバブ」と読むようです。

このプラグインを使用すると、Googleにサイトの更新をほぼリアルタイムに伝えることが可能になります。

このプラグインを使うと公開した時に瞬時にインデックスされるので、自分のブログ記事のコピーコンテンツよりも早くインデックスされることにより、自分の記事がオリジナルだということをGoogleに伝えることが可能になります。
(※100%自分の記事がオリジナルだと伝えることができるわけではありません)

パンダアップデートに代表されるGoogleのアルゴリズムではコピーコンテンツで順位が低下する可能性がありますので、それを事前防げる可能性が高くなります。

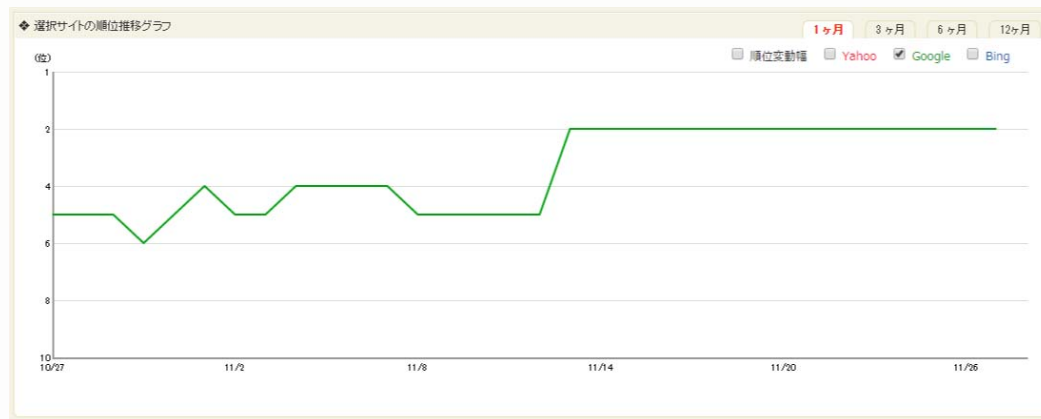
インデックスが早くなれば、数時間後には検索結果に表示されるようになりますので、リアルタイム性が重要なニュースなどのブログを書いている方は、重要なプラグインといえるでしょう。

5. TOPページをメインキーワードで上昇させる

WordPressといえばブログなので、投稿ページをロングテールキーワードで上昇させて、さまざまなキーワードで集客するというのが今までのWordpressのSEO対策だと思います。

しかしこのSEOラボを運営してわかったことは、ブログサイトでもTOPページのSEO対策を最初にして、特定のキーワードで順位を上昇させれば、他のキーワードも上昇しやすくなるということです。

○「SEO ブログ」キーワードの順位グラフ



上記のグラフは、「SEO ブログ」キーワードの順位グラフです。11月13日から2位に安定してきているのがわかります。

このキーワードで安定してきた11月13日からさまざまなキーワードが上昇しました。

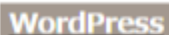
SEOラボのドメインに力がついてきたので、カテゴリページや下部ページが順位上昇して来たのです。この現象は、ページ自体には被リンクが1本もないが、ドメイン自体に被リンクが多く、ドメインパワーが強いサイトの中ページが検索結果の上位に表示されているものと同じ理由によるものです。

6. カテゴリページを内部対策でキーワード比率を高める

WordPressのブログサイトでもカテゴリページのSEO対策をすることが重要です。

今までのWordpressのブログサイトでは、カテゴリページは、noindexにしたほうがいいなど、あまり重視されてはいませんでした。

しかし投稿記事のタイトルにキーワードを含めることで、カテゴリページの力が強まることによりサイト全体の力が強くなります。実際、投稿記事のタイトルにそれぞれの属するカテゴリ名を入れることにより、TOPページの順位が上昇しました。

The image shows the WordPress logo, which consists of the word "WordPress" in a white sans-serif font inside a dark grey rounded rectangle. This logo is part of a larger graphic that includes a vertical blue bar to its left and a red rectangular border around the logo itself.

**【SEO対策】キーワード「WordPress SEO」で
タイトルに「WordPress」がないのに上昇した施策**

上記のように投稿記事のタイトルに付いています。

こちらがタイトルにあることにより、カテゴリページにカテゴリ名のキーワード数が多くなり、ページの力を強めています。

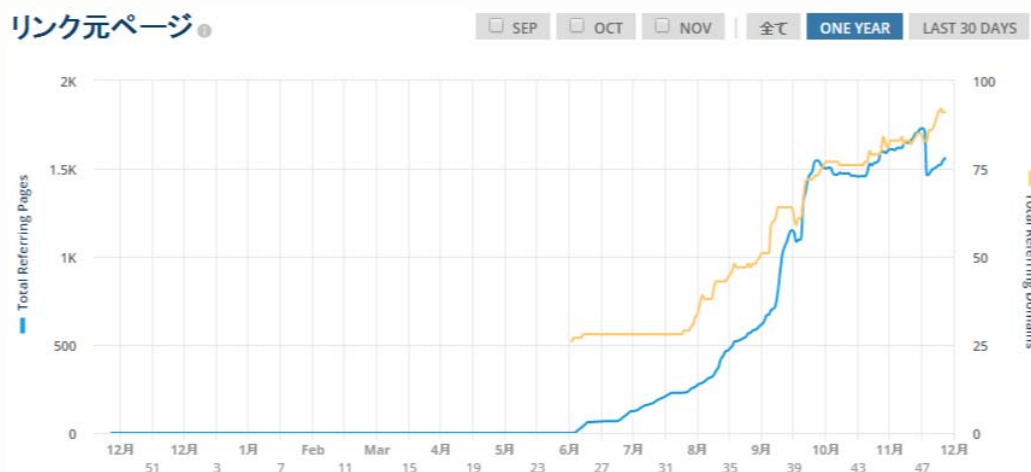
7. ナチュラルリンクを獲得する記事を書く

「項目5:TOPページのSEO対策」「項目6:カテゴリページのSEO対策」の2つの法則を使って、SEO対策を実施するとある程度の順位に上昇して、ドメインのパワーも強くなっていると思います。

次は、投稿記事に被リンクを集めて、サイト全体の様々なキーワードの順位を上昇させます。

では、どうすれば被リンクを集めることができるかですが、それは「ニュースや記事を自動収集しているサイトに乗るような記事を書く」です。ブログは、テーマによっては、ニュースサイトに記事が掲載される可能性が高いメディアです。

よって、積極的に自分のブログのテーマに近いニュースサイトを探して、そのサイトに掲載されやすい記事を書くことによって、被リンクを獲得することができます。



上記のグラフは、被リンク調査ツールAhrefsで調査したSEOラボの被リンクの増加がわかるグラフです。順調に被リンクが増えていることがわかります。

7. ナチュラルリンクを獲得する記事を書く

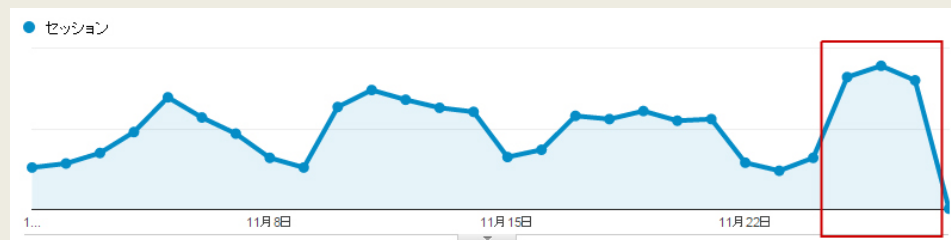
SEOラボが実際に被リンクを増やした事例としては、初期のころは、SEO関連のブログ記事やニュースを自動収集しているサイトに、掲載され被リンクを獲得していました。しかし、1度掲載されると同じサイトに何度掲載されても、被リンクの数は増えても被リンクドメイン数は、増えません。

そこでSEOの記事でありながら、他の自動収集サイトに掲載されるような題材はないかと探したところ、「WordPressの自動収集ニュースサイト」を見つけました。

WordPressの記事を書くことにより、Wordpressの期維持を集めているニュースサイトに投稿記事が掲載され、別なサイトから被リンクを獲得することに成功しました。

結果、ビックキーワードである「SEO」「SEO対策」で2ページ目に急上昇し、他の「内部対策」「外部対策」など様々なキーワードで順位が上昇して、1日の検索トラフィックが約1.5倍になりました。

実際のSEOラボ (<http://seolaboratory.jp>) の2014年11月の検索トラフィックの推移です。



8. パーマリンクの設定

WordPressで最初にやったほうがいいSEO関連の設定が、パーマリンクの設定です。

http://seolaboratory.jp/?p=123 ←パーマリンク

パーマリンクとは、上記の赤枠の部分のことです。

WordPressは、パーマリンクを任意に変更することが可能です。

Googleは、ウェブマスターツールのヘルプでURLの構造について以下のように言及しています。

サイトの URL 構造はできる限りシンプルにします。

論理的かつ人間が理解できる方法で（可能な場合は ID ではなく意味のある単語を使用して）URL を構成できるよう、コンテンツを分類します。

たとえば、航空機（aviation）に関する情報を探している場合、

http://en.wikipedia.org/wiki/Aviation のような URL であれば、見ただけで必要な情報であるかどうかを判断できます。

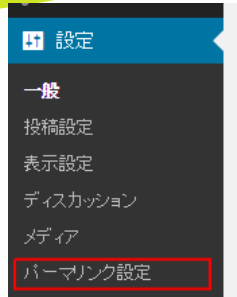
http://www.example.com/index.php?id_sezione=360&sid=3a5ebc944f41daa6f849f730f1 のような URL 自体は、ユーザーの関心を引くことはほとんどありません。

引用元：ウェブマスターツールヘルプ シンプルな URL 構造を維持する

ウェブマスターツールのヘルプには、「可能ならIDではなく意味ある単語を使用する」と書かれています。

パーマリンク説明の赤枠の部分は、WordPressのデフォルト設定だと「? + 数字」というIDになってしまいます。

9. パーマリンクの設定方法



左記のように左のメニューから「設定」⇒「パーマリンク設定」に移動します。

パーマリンク設定

WordPressはデフォルトでは ? マークや数字を含む URL を使用しますが、パーマリンクやアーカイブにカスタム URL 構造を使うこともできるように
いやすさ、そして前方互換性を改善できます。[利用できるタグは色々ありますが](#)、以下にいくつか例をご紹介します。

共通設定

☐ デフォルト	<code>http://seolaboratory.jp/?p=123</code>
☐ 日付と投稿名	<code>http://seolaboratory.jp/2015/03/27/sample-post/</code>
☐ 月と投稿名	<code>http://seolaboratory.jp/2015/03/sample-post/</code>
☐ 数字ベース	<code>http://seolaboratory.jp/archives/123</code>
☐ 投稿名	<code>http://seolaboratory.jp/sample-post/</code>
☒ カスタム構造	<code>http://seolaboratory.jp /%category%/%year%%monthnum%%day%%post_id%.p</code>

上記のような画面になります。

基本的には、SEO対策を意識するなら一番下の「カスタム」を選んでください。

10. 最適なパーマリンク設定

SEO対策をする上で最適なパーマリンク設定は、以下のようにしたほうがいいと思われます。

```
http://seolaboratory.jp/%category%/%postname%/
```

パーマリンク設定は、上記の設定の仕方が、SEO的には、Googleが言っていることを一番あらわしているURL構造だと思われます。しかし、このURL構造には、カテゴリを変更したときにURLが変更になるという欠点があります。これは、2つのマイナス効果があります。

1つは、URLが変わることにより被リンクなどの効果がなくなるということです。

これは、301リダイレクトを設定することで回避できますが、設定が複雑になり、かなり面倒な作業です。

もう1つはSNSのFacebookのいいね数やTwitterの数などが0にリセットされることです。

実は、初期のURL構造を変更したことでこのSEOラボ (<http://seolaboratory.jp>) でもリセットされてしまいました。

SEO対策にどの程度影響があるかは、未知数ですが、0にする必要はないので、注意が必要です。

よって、最近では、カテゴリ名をURL構造からなくして、記事タイトルだけにするのが、よいといわれています。

実際に弊社でもカテゴリをnoindexにすると検索数が上がった事例があり、カテゴリにこだわる必要性が薄いので、URL構造からもカテゴリを抜いた方がいいと思われます。

```
http://seolaboratory.jp/%postname%/
```

上記のように%postname%=記事タイトルをURLにすることをお勧めいたします。

ただしこのままでは、記事タイトルが日本語の場合は、URLも日本語になってしまいますので、記事にスラッグを設定するか、記事のURLを任意に英語で設定することをお勧めいたします。

株式会社ディーボについて

株式会社ディーボは、SEO業界初の検索アルゴリズム分析ツール「ALGO BUSTER」の開発をはじめ、被リンクチェックツール「hanasakigani.jp」や、立ち上げた3ヶ月で1万ページビュー達成のSEO実験ブログ「seolaboratory.jp」等、数々のSEOサービスを開発・リリースしてます。他にも紹介しきれない様々な無料SEOツール・SEOサービス等ございます。



株式会社ディーボ コーポレートサイト
「devo.jp」



被リンクチェックツール
「hanasakigani.jp」



SEO実験ブログサイト SEOラボ
「seolaboratory.jp」



Google順位変動幅確認ツール
「namaz.jp」



無料SEO診断ツール
「itomakihitode.jp」



Googleペナルティ解除支援ツール
「akakurage.jp」

ディーボは、一緒に順位をUPを目指します！
一緒に検索上位表示を目指して
SEO対策を進めましょう！

あなたのサイトの順位は大丈夫ですか？
順位・内部・リンクを調べ
必要な対策をご案内します（無料）